

リポバッテリーの取扱注意

★必ずお読みください

- * LiPo バッテリーは、充電設定を間違えると破裂したり、激しく燃焼することが確認されています。昼夜を問わず、目の届かない場所での充電は、絶対に行わないようにして下さい。火災が発生し人命が失われる可能性があることを、十分に認識して使用して下さい。過充放電して膨らんだバッテリーを破ったり、針でつくような行為は破裂火災を招きます。針などでバッテリーを突き刺すと、高エネルギーが一度にショートし、激しく燃焼することが実験で確認されています。膨らんだバッテリーは使用せずに、3%~5%位の濃度の食塩水に約1週間沈めて微弱放電し、容量がゼロになっていることを確認してから、燃えないゴミに廃棄して下さい。また使用済みのバッテリーも上記の方法で放電した後に、燃えないゴミに廃棄して下さい。
- * リチウムポリマー電池は、リチウムイオン電池と同じように、電解質をプラス極のリチウム合金とマイナス極の炭素酸化物の活物質で挟んだサンドイッチ構造を持っています。両者が異なるのは電解質が有機電解液ではなく、ポリマー（重合と呼ばれる化学反応でできる化合物）であることです。電解質に液体を使わず、ゲル（半固形）状のポリマーを用いるため、電池から液が漏れ出す心配がないことが大きな特徴です。しかし、リチウムポリマー・バッテリーは**大きな危険性**を持っています。簡単に言えば、過充電、過放電時にバッテリー自体が餅のようにふくらみ、その後、発火し、最悪は火災へとつながります。
- * リポバッテリーは過放電状態になりますと再充電が出来なくなります。飛行中にメインローターの回転が低くなってきたら、すぐ飛行を中止しリポ電池コネクタを必ず外して下さい。コネクタをつないだままでは受信機回路に電流が流れリポ電池が過放電状態となり充電できなくなります。
- * リポバッテリーの充電は、リポ電池の特性上取り扱いを間違えると発火のおそれがあります。飛行が終わったら、必ず機体よりリポ電池を外すこと。充電するときは付属の専用充電器ですること。充電時はリポ電池を金属トレーやビールジョッキなど不燃性の容器に入れて充電することをお勧めします。リポ電池が充電中に膨らんだり、異常に発熱した場合は即刻充電を中止し、可燃物のない屋外等へ出して発熱がおさまるのを確認して下さい。

* リポ電池は素晴らしい性能を示しますが、その特性により使い方を誤ると大変危険ですのでラジコン初心者の方は特にご注意下さい。インターネットのホームページでもたくさんの方がリポ電池の扱い方を発表していますので参考にしてください。下記のページを一つの参考として、初心者の方はぜひ御覧頂きたいと思います。

<http://www.torisan-i.com/kigatuitakoto/lipo-fire/lipo-fire.htm>

下記注意事項を守り、充電や保管には細心の注意を払いましょう。

- 1.過充電はしない。
- 2.過放電はしない。
- 3.保管中は絶対にショートしないようにする。
- 4.充電は機体から取り外し、万が一発火しても安全な場所で行う。基本は屋外です。
- 5.充電中はバッテリーから目を離さない。バッテリーが膨れてきたらすぐに充電を中止する。
- 6.充電が終了したらバッテリーを充電器から取り外す。
- 7.使用していない時、発火しても大丈夫なケースに入れて”**安全な場所**”に保管する。
- 8.充電は基本的に屋内や、車内では行わないこと。戸外で常時監視できることを前提にしましょう。

*お取り扱いに関しては自己責任で行なって下さい。取り扱いや飛行においての事故、ケガ、第三者の身体や財産に対する損害に対しては、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。